

や 八頭町 議会だより



第74号

鳥取県八頭町議会
令和5年8月発行

おいしいお米になあれ

- 6月定例会……………P 2
- 委員会報告……………P12
- 一般質問……………P13

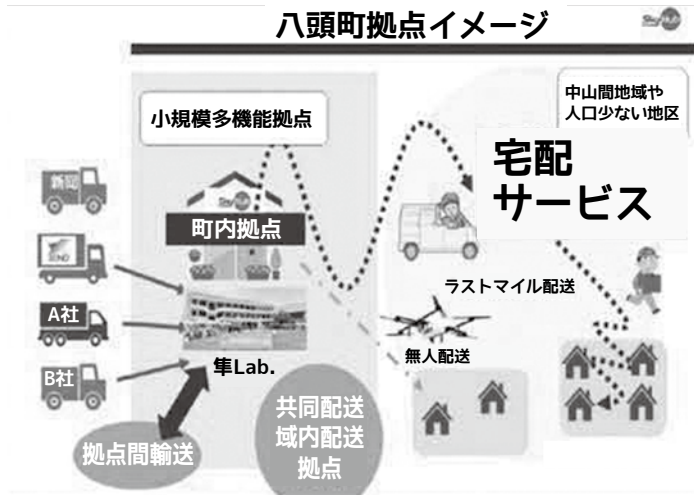
都市創生事業

主な事業

物流再構築検討

200万円

物流業界では、長時間労働の慢性化、若手不足と高齢化による労働力不足等が課題となっている。特に中山間地域では物流に支障が出てくる可能性があり、八頭町の持続可能な物流システムを構築するため、小規模多機能拠点を置き、共同配送等の物流体制を確保するための調査を行うものです。



自動運転バス実証実験

6,002万円

国補助 (10/10)



最新の自動運転バスの導入実証事業を行う。
注) 国の補助企業の公募が令和5年5月から開始されたばかりであり、今後応募を行い、採択されてはじめて事業実施となります。

オンライン施設予約

45万円

国補助 (1/2)



スマホで施設の予約を行い、スマホで開錠可能とするシステムの導入。
(体育施設等での試行を予定)

高齢者スマホ教室

27万円



八頭高生徒を講師に高齢者向けのスマホ教室の開催。

企画課 地域戦略室

梶川 室長

デジタルの力を取り入れて、八頭町での暮らしを少しずつ、しかし着実に豊かで便利なものにするため、多くの方にこれら取組に参加して頂きたいと考えています。



注目の予算!!

デジタル田園

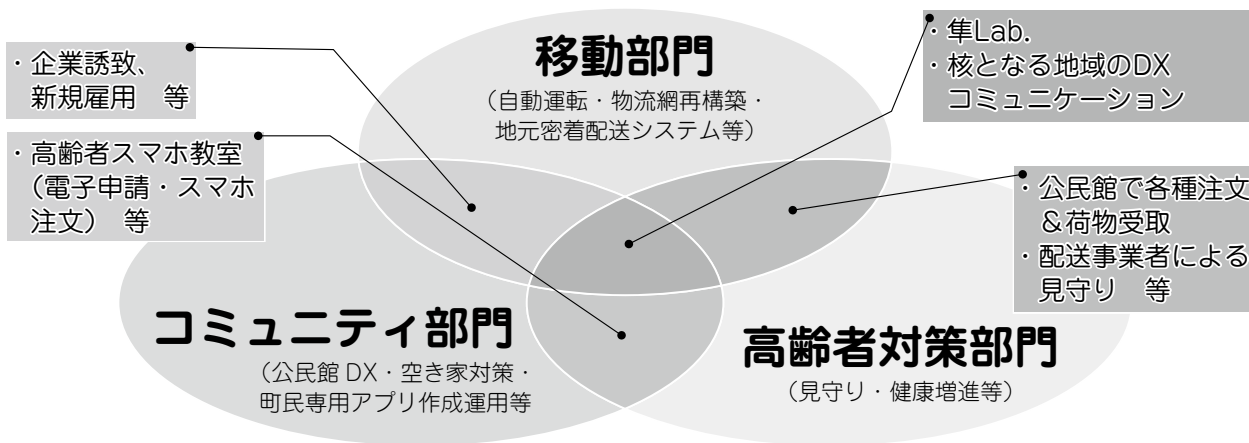
八頭町のデジタルトランスフォーメーション（DX）が動き出します！

デジタル田園都市創生事業とは・・・

令和4年7月に策定された「八頭町デジタルトランスフォーメーション（DX）推進方針」の一環であり、地域の課題を、デジタル技術を活用することで解決し「心ゆたかな暮らし」と「持続可能な環境・社会・経済」を実現していく事を目的とした事業となります。具体的には、「暮らし」や「産業」などの領域をデジタルの力で新たなサービスや共助のビジネスモデルを生み出しながら、その恩恵を地域の皆様に届けていくことを目指しています。

地域社会のDXを推進

第2期総合戦略策定のため令和元年度に実施したアンケートをもとに、町民が特に不安があると挙げた「高齢者の孤立」「空き屋の増加によるコミュニティの衰退」「買い物弱者等の移動の問題」の3点を重なり合う取組で解消し、人々が心豊かに暮らせる未来の田舎を創造します。



デジタル田園都市創生事業の内訳

歳入

(単位：千円)

財源の内訳	補正額	
国庫支出金	62,196	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 60,021 (国からの10/10の補助)
		デジタル田園都市国家構想交付金 2,175 (国からの1/2の補助)
一般財源	4,446	
合計	66,642	

歳出

(単位：千円)

	事業費
謝礼品	270
消耗品費	162
自動運転バス運行业務委託	60,022
高齢者見守り業務委託	500
アプリ運用業務委託	2,200
物流網調査業務委託	2,000
オンライン予約システム使用料	119
回覧板アプリ使用料	700
グーグルアプリ使用料	500
電子鍵システム使用料	169
合計	66,642

令和5年6月定例会
6月8日～6月20日

6月定例会が13日間の会期で開かれました。人権擁護委員の推薦1件、農業委員の任命14件、工事請負契約4件、条例の一部改正5件、事務の委託の廃止1件、補正予算4件、工事委託の協定締結1件を含む30議案が提案され、原案どおり可決しました。また、陳情3件を採択し、議員発議は3件とも可決しました。

◇議案第66号（同意）
人権擁護委員の推薦（敬称略）

竹内 照代

◇議案第67号～第80号（同意）
農業委員の任命（敬称略）

安部 寛
衣笠 指図
田中 孝幸
上田 正人
横野 俊彦
山本 知司
細田 邦男
川村 忠幸
大谷 誠一

東田 輝正
岸本 慶子
山根 祐一
大村 祥一郎
明治 良一

◇議案第81号（可決）

町営住宅東郡家団地改修工事

（その3）請負契約

○契約金額 5,539万6千円

○契約の相手

東洋建設・松田建設特定建設
工事共同企業体

代表者 東洋建設株式会社

代表取締役 森木 悟

工期 令和5年6月9日から

令和6年1月31日まで



町営住宅東郡家団地

◇議案第82号（可決）

八頭町公共下水道郡家浄化センター
ターボ曝気機更新工事委託に関する
協定の締結

○契約金額 2億7,100万円

○契約の相手

日本下水道事業団

理事長 森岡 泰裕

工期 令和5年6月20日から

令和7年3月31日まで



八頭町公共下水道郡家浄化センター

◇議案第83号（可決）

鳥取市と八頭町との一般廃棄物の
焼却等に関する事務の委託の廃止

令和5年4月1日から鳥取県東

部広域行政管理組合が運営する可燃物処理施設「リンピアいなば」が供用開始したため、これまで行っていた神谷清掃工場の稼働が停止し、事務の委託の廃止の協議を行おうとするもの

◇議案第84号（可決）

早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の一部改正

地方公務員法の一部改正による職員の内定年齢の引き上げに伴い、所要の改正を行うもの

◇議案第85号（可決）

八頭町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の医療に関する法律上の位置付けが2類から5類の感染症に変更されたことにより、特殊勤務手当の特例が廃止され、それに伴う所要の改正を行うもの

◇議案第86号 (可決)

八頭町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

内閣府令の公布等に伴い、児童虐待防止を図る観点から懲戒権の濫用禁止規定を削除する等の所要の改正を行うもの

◇議案第87号 (可決)

八頭町家庭的保育事業等の設備運営に関する基準を定める条例の一部改正

厚生労働省令の公布等に伴い、児童虐待防止を図る観点から懲戒権の濫用禁止規定を削除する等の所要の改正を行うもの

◇議案第88号 (可決)

八頭町農業用施設等条例の一部改正
八東水稲育苗施設の払下げを行う前段の手續きとして、行政財産から普通財産に変更するもの

賛成討論 栄田 秀之 議員

昭和55年に建設され、かなりの年月が経過している老朽化施設で景観上も良くない。一部のガラスも破損し危険だ。集落から「安全確保適正措置等の早急な対応を求

める要望書」が提出され、適正な対処を行うものであり賛成する。

賛成討論 川西 聡 議員

長い間、施設の危険度が気になり、担当課に何回も言ってきた。その過程で言葉を荒げたこともあるが反省している。関係者の努力でここまで漕ぎつけたことに敬意を表し、一日も早い解決を願って賛成討論とする。

◇議案第90号 (可決)

令和5年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に変更はなく、予備費で調整。

◇議案第91号 (可決)

令和5年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に変更はなく、予備費で調整。

◇議案第92号 (可決)

令和5年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に変更はなく、予備費で調整。

◇議案第93号 (可決)

郡家東小学校長寿命化改修(建築)工事請負契約の締結

○契約金額 6億5,967万円

○契約の相手

こおげ建設・山陰建設・郡家重機特定建設工事共同企業体
代表者 こおげ建設株式会社
代表取締役 山根 敏樹

工期 令和5年6月21日から

令和6年7月31日まで

◇議案第94号 (可決)

郡家東小学校長寿命化改修(機械設備)工事請負契約の締結

○契約金額

9,207万8千8百円

○契約の相手

西日本環境・松田組・竹内組
特定建設工事共同企業体
代表者 西日本環境設備株式会社
代表取締役 荒川 恵

工期 令和5年6月21日から

令和6年7月31日まで

反対討論 森 亜紀子 議員

郡家東小学校の長寿命化工事に反対するものではないが、入札者は4共同企業体であった。うち3企業体が最低制限価格の金額。こ

の入札で3企業体が同じ価格に違和感があり反対とする。

反対討論 小原 徹也 議員

反対理由は、最低制限価格が公表されていない中、3企業体と同じ金額の入札だった。制限価格を下回っても十分利益が出るとの判断か。精査し圧縮できるべきは圧縮することが住民の皆様の思いではないか。

賛成討論 川西美恵子 議員

適正な工事を執行するには、最低制限価格の設定は望ましい。入札結果が同額の企業体が多かったため、疑義が生じるという発言があったが、それぞれの企業体で企業努力により積算した結果が同額であったと判断し賛成する。

◇議案第95号 (可決)

郡家東小学校長寿命化改修(電気設備)工事請負契約の締結

○契約金額 8,426万円

○契約の相手

株式会社とりでん
取締役社長 高岡 繁
工期 令和5年6月21日から
令和6年7月31日まで

令和5年 第4回臨時会

4月28日

◆議案第59号 (可決)

専決処分の承認を求めること

(八頭町条例の一部改正)

個人住民税で、令和6年度から導入される「森林環境税」に伴う賦課徴収方法の改正などを行ったもの

◆議案第60号 (可決)

専決処分の承認を求めること

(八頭町国民健康保険税の一部改正)

後期高齢者支援金等課税額の課税限度が22万円(現行20万円)に、軽減判定所得の算定で5割軽減の場合が29万円(現行28万5千円)に、2割軽減の場合は、53万5千円(現行52万円)に引き上げられたことに伴い、改正を行ったもの

◆議案第61号 (同意)

教育長の任命

(敬称略)

藪田 邦彦

◆議案第62号 (同意)

教育委員会委員の任命

(敬称略)

大上 澄恵

◆議案第63号 (可決)

令和5年度八頭町一般会計補正予算(第1号)

一般会計の歳入歳出それぞれ1億3,235万4千円を追加するもの

(主な歳出)

○低所得世帯光熱費助成事業

420万円

○電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業

5,330万円

○郡家ふれあいドームの人工芝改修費

1,270万円

ほか



郡家ふれあいドーム

令和5年 第5回臨時会

5月29日

◆議案第64号 (可決)

皆原橋補修工事請負変更契約の締結

○契約金額

6,230万9千5百円

(411万9千5百円増)

○契約の相手

株式会社竹内組

代表取締役 竹内 秀彦

工期 令和4年12月20日から

令和5年7月31日まで



皆原橋

◆議案第65号 (可決)

備品購入契約の締結(マイクロバス)

○契約金額

1,034万円

○契約の相手

鳥取いなば農業協同組合

J A 鳥取いなば八東自動車サービスマスター

履行期間 令和5年5月29日から

令和6年3月25日まで



更新されるマイクロバス

関連団体の経営報告

八頭町では町が資本金・基本金等を4分の1以上出資している法人の経営状況を議会に報告することが条例で定められています。6月定例会で決算報告がありました。

八東地域振興株式会社

八頭町 1,000万円出資 (62.5%)

事業活動収入	69,079,988円
事業活動支出	70,653,524円
当期収支決算額	△1,573,536円

昨年度と同様に「フルーツ」「音楽」「鉄道」「バイク」の4本を柱に事業展開をしました。昨年度は、今までのフルーツ以外に野菜やきのこを中心に出荷人数・出荷量も増え、地元の農作物の販売に寄与できたと感じています。県外からも集客ができ、鉄道グッズやバイク関連品の売り上げも好調で全体の売り上げは前年度比120%増でしたが、電気代や資材の高騰等に対応が追い付かず、悔しい思いをしました。今後は、経費の見直しも含め、健全経営を目指します。



若桜鉄道株式会社

八頭町 3,265万円出資 (32.7%)

事業活動収入	324,284,293円
事業活動支出	323,540,871円
当期収支決算額	743,422円

輸送人員は定期券購入者と冬期間のスキー客利用が増加し、前年比126%増の475,170人でした。加えて京都鉄道博物館での隼ラッピング車両の展示など各種イベントでのグッズ販売収益も好調で、4年ぶりの黒字決算でした。鉄道ファンなどターゲットニーズに合わせた営業・物販での売り上げ増加を狙いながら、観光化にも力を入れ、地域住民の皆様にご利用いただけるよう努力してまいります。



一般財団法人八頭町農業公社

八頭町 2,000万円出資 (100%)

事業活動収入	17,323,526円
事業活動支出	17,247,782円
当期収支決算額	75,744円

農地の管理が困難な方とエリアを分けて大規模農家への農地の集積化を年々進めている他、八頭米ブランドを推し進め、関西圏中心の販売で、昨年より単価が上昇しました。今後も農地の管理、果樹振興や就農の相談に尽力してまいります。

八頭土地開発公社

八頭町 500万円出資 (100%)

事業活動収入	463円
事業活動支出	73,200円
当期収支決算額	△72,737円

令和4年度は該当事業なし

新体制 スタート

議会構成決定

八頭町議会議員任期4年の内、各常任委員会の所属は2年と定められています。4月27日に臨時会を開催し、各議員の所属替えを行いました。

また、前田幸己議長の辞任に伴う議長選挙が行われ尾島勲議員が新議長に選ばれました。

議長就任あいさつ



議長 おしま いさお
尾島 勲

令和5年4月28日に開催された八頭町議会臨時会において、第7代八頭町議会議長に選出された尾島勲です。

コロナ禍やデジタル化など、目まぐるしく変化する町内状況下において議会の果たす役割は今後ますます重要かつ高度化していくと考えます。

議長に就任することは手段であって目的ではない。また、現状維持は後退を示すものだとの認識のもと、建設的に議会運営に取り組み、住み良いまちづくりに尽力していきます。

新しい議会の構成

総務教育常任委員会	委員長	川西美恵子	出納室、税務課、総務課、選挙管理委員会、企画課、男女共同参画センター、議会事務局、監査委員、人権推進課、教育委員会に関する事務の調査や請願・陳情などの審査を担当します。
	副委員長	灘口 茂郎	
	委員	森 亜紀子	
	委員	山根張太郎	
	委員	小原 徹也	
	委員	緒方 陽紀	
	委員	尾島 勲	

産業福祉常任委員会	委員長	栄田 秀之	町民課、福祉課、保健課、産業観光課、農業委員会、建設課、地籍調査課、上下水道課に関する事務の調査や請願・陳情などの審査を担当します。
	副委員長	矢部 啓祐	
	委員	中村 美鈴	
	委員	前田 幸己	
	委員	岡嶋 正広	
	委員	川西 聡	
	委員	奥田のぶよ	

議会広報常任委員会	委員長	緒方 陽紀	年4回発行する議会だよりの作成等、議会広報に属する事項を担当します。
	副委員長	森 亜紀子	
	委員	前田 幸己	
	委員	矢部 啓祐	
	委員	灘口 茂郎	
	委員	川西 聡	
	委員	奥田のぶよ	

議会運営委員会	委員長	山根張太郎	議会運営に関すること、議会規則、委員会条例に関すること、議長からの諮問に関することを担当します。
	副委員長	川西 聡	
	委員	前田 幸己	
	委員	栄田 秀之	
	委員	川西美恵子	
	委員	緒方 陽紀	



総務教育常任委員会



産業福祉常任委員会

議案等議決結果

(第4、5回臨時会・第6回定例会)

賛成「○」、反対「×」で記載。採決は、議長を除く13人で行う。

議案等番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
		森 亜紀子	山 根張太郎	中 村美鈴	尾 島勲	矢 部啓祐	灘 口茂郎	岡 嶋正広	栄 田秀之	川 西聡	小 原徹也	川 西美恵子	緒 方陽紀	奥 田のぶよ	
第4回臨時会															
59	専決処分の承認を求めること (八頭町税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
60	専決処分の承認を求めること (八頭町国民健康保険税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
61	教育長の任命につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	同意
62	教育委員会委員の任命につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
63	令和5年度八頭町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案等番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
		森 亜紀子	山 根張太郎	中 村美鈴	前 田幸巳	矢 部啓祐	灘 口茂郎	岡 嶋正広	栄 田秀之	川 西聡	小 原徹也	川 西美恵子	緒 方陽紀	奥 田のぶよ	
第5回臨時会															
64	皆原橋補修工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
65	備品購入契約の締結(マイクロバス)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第6回定例会															
66	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
67~80	農業委員の任命につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
81	町営住宅東郡家団地改修工事(その3)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
82	八頭町公共下水道郡家浄化センター曝気機更新工事委託に関する協定の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
83	鳥取市と八頭町との一般廃棄物の焼却等に関する事務の委託の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
84	早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
85	八頭町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
86	八頭町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
87	八頭町家庭的保育事業等の設備運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
88	八頭町農業用施設等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
89	令和5年度八頭町一般会計補正予算(第2号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決

議案等 番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
		森 亜紀子	山 根張 太郎	中 村 美鈴	前 田 幸己	矢 部 啓祐	灘 口 茂郎	岡 嶋 正広	栄 田 秀之	川 西 聡	小 原 徹也	川 西 美恵子	緒 方 陽紀	奥 田 のぶよ	
90	令和5年度八頭町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
91	令和5年度八頭町公共下水道特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
92	令和5年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
93	郡家東小学校長寿命化改修（建築）工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
94	郡家東小学校長寿命化改修（機械設備）工事請負契約の締結	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
95	郡家東小学校大規模改修（電気設備）工事請負契約の締結	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決

陳情8	地方財政の充実・強化を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情9	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情10	保育所等保育所施設の職員配置基準改善を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発議7	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
発議8	保育所等保育所施設の職員配置基準改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議9	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

陳情の審査

件名	提出者	結果	理由
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 ほか1名	採択	陳情の趣旨を認めた。
保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 ほか1名	採択	陳情の趣旨を認めた。
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情	鳥取県教職員組合 東部支部長 常藤 充博 ほか1名	採択	陳情の趣旨を認めた。

※ インボイス制度を考えるフリーランスの会 代表 阿部 伸から提出のあった「国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書」は、県外からのものであり議会の申合せにより資料配付とした。

議会改革推進調査特別委員会

◎議会報告会での意見が予算化されました

令和4年度に開催しました議会報告会・意見交換会で会場からいただいた、ご意見を町へ要望し、補正予算化となりました。今後も皆さんからのご意見を反映できるよう努めてまいります。

◎身体障害者福祉協会からのご意見

体育文化センターの檀上にある際、階段に苦労している。手すりを付けて欲しい。

○八東体育文化センター遠見山アリーナステージ横に手すりが設置されます。

◎身体障害者福祉協会からのご意見

八東運動公園の管理棟の女子トイレには、和式が一つしかなく不便だ。

○八東運動公園屋内多目的運動場の女子トイレが洋式化されます。

◎八頭町議会本会議がインターネット配信されます

現在はケーブルテレビで本会議中継と、一般質問の再放送を実施していますが、仕事で視聴できないなどの声もあり、より多くの方へ情報を届ける為にインターネット配信を検討してきます。

6月定例会から、八頭町議会チャンネルをホームページに開設しインターネットで視聴できるようにになりました。是非アクセスください。詳しくは八頭町ホームページをご覧ください。



令和4年度議会報告会(身体障害者福祉協会)

八頭町公共施設等調査特別委員会

経過報告

本町は、現在277施設があります。そのうち築30年以上経過している施設は約45%を占めています。これらの多くは高度成長期に建設されています。その時期に建設された公共施設が老朽化し維持管理費が地方自治体の重荷になりつつあります。

人口減少時代を迎え公共施設の維持管理コストの増大は避けられません。急激な人口減少により、平成17年の合併時には20,000人であった人口は、現在では16,000人弱、7年後の令和12年には12,881人の推計がされています。

社会情勢は大きく変化しています。これに伴って施設に対して求められるものも変化しています。

施設整理の先送りは、子や孫の世代につけを回すことになるだけに早急な対応が求められています。公共施設等の最適な配置を実現することが必要になってきました。

この状況を踏まえて議会では令和4年6月に八頭町公共施設等調査特別委員会を設けて公共施設の適正配置(集約化、複合化、廃止、用途転用)等のあり方を見直ししています。また施設の利用率の向上、効率化、有効活用について検討しています。

6月定例会では、昭和55年度に建設され古くなり使われていない八東水稲育苗施設を、公募による払下げ手続きのため行政財産から普通財産に変更しました。



八東水稲育苗施設

ここが聞きたい

12人が
一般質問
しました。

一般質問

質問者	質問事項	頁
奥田のぶよ	本町の健康づくり計画	14
矢部 啓祐	八東総合運動公園の今後の在り方 隼 Lab. の今後の展開	15
岡嶋 正広	森林経営管理計画 トスクふなおか店のその後の対応策は	16
小原 徹也	税金の使途及び支出されたものに対するチェック	17
前田 幸己	林業の振興 農地保全	18
中村 美鈴	地域共生社会	19
川西美恵子	デジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組み 子育てに優しいまちづくり	20
川西 聡	国保税算定における「子どもに対する均等割」 ひとり親家庭への支援策の充実	21
灘口 茂郎	一般質問のその後	22
山根張太郎	本町の医療環境の改善	23
森 亜紀子	個人情報保護 観光振興	24
栄田 秀之	小さな農業はどこへ行くのか 交通安全運動と自転車用ヘルメット着用	25

一般質問とは

議員が行政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告、説明を求めたりすることをいいます。

議員1人あたりの質問時間は30分です（執行部側の答弁は時間に含まれません）。

掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。議事録は、議会ホームページのほか、議会事務局、各庁舎、図書館でもご覧いただけます。

健康づくり計画

緑内障検診を独自 事業として実施しては

町長／他の市町の動向を 踏まえつつ研究したい



奥田のぶよ 議員

質問

「健康やず21」の健康づくり計画の第3次が令和5年度に策定される。健康増進事業について問う。

- ① 町内医療機関が減少している現状をどのように捉えているのか。
- ② 公設民営のスポーツジムの進捗状況は。
- ③ 心の健康対策は。
- ④ 成人の喫煙率を減らす対策は。
- ⑤ 緑内障検診を本町の独自事業として実施しては。
- ⑥ 健康ポイント事業や健康手帳等のアプリ導入を考えては。
- ⑦ 減塩メニューコンテストの開催や健康づくり事業と特産品を掛け合わせるような事業を実施しては。

答弁

吉田町長

- ① 町内の医療機関は減ったが、今年度想定している受診者数を受入れ可能な体制にしている。
- ② 「健康やず」のアンケート調査では年代や性別により運動の実態

や施設整備への意向の差がある。60代、70代では施設整備に必要な回答が多かった。

結果を踏まえ、健康増進、筋力維持の観点での運動器具を活用した教室の開催を考える。

- ③ 唾液によるストレスチェックを「ここから」からの健康相談」で再開し、保健師が個別の相談対応をしている。

睡眠の質に合わせ時間の重要性についても周知、啓発が行われるよう検討していく。

- ④ 健康講座の開催や受動喫煙防止の呼びかけ、世界禁煙デーに合わせた八頭町禁煙デーとして啓発を行っている。
- ⑤ 国保の被保険者の人間ドックの検査項目において眼底検査を年間300人程度の方が受診している。他の町村の動向を踏まえつつ研究していきたい。
- ⑥ アプリではないがマイナンバーカードを利用して自分の健康に

関する情報を確認することができ。ICTを活用した健康づくりへの取組は今後必要になってくる。

- ⑦ 減塩メニューコンテストの開催は考えていないが、特産品を活用したメニューの開発を行っている。

質問

医療法の改正では、かかりつけ医を持つようにとある。身近なところで相談できる、かかりつけ医を考えた時に、今の医療機関で十分だと言えるのか。

答弁

吉田町長

かかりつけ医は身近な先生にお世話になることを考えれば十分ではないと思う。

質問

鳥取市内の個人病院に通った場合、医療費の領収書等、タクシーの領収書を提示すれば償還払いで運賃を支払うようにならないか。

答弁

吉田町長

今現在は考えていない。市内にかかりつけ医がある人がすべてタクシーを往復利用はしていない。

質問

八東保健センター温泉プールは機能訓練用で一般の温水プールとはならないと考える。船岡の準プールのところにスポーツジムを置いて、準プールを屋内プールにし、一年中使えるようにしてはと考えるが。

答弁

吉田町長

準プールは老朽化している。長期的な視点で見える必要がある。

質問

メニューの開発や減塩メニューコンテストを、マルシェのイベントとして実施してみてもどうか。

答弁

吉田町長

マルシェで特産品を加工したものができれば一番いいが、タイミングがあれば考えたい。



八東保健センター温水プール

八東総合運動公園

遊具のリニューアル実施の考えは

町長／これから研究したい
教育長／考えていく時期に来ている



矢部 啓祐 議員

質問

①八東総合運動公園全体の現状は。
②遊具のリニューアル、改修工事の実施の考えは。

答弁

吉田町長
①運動施設、公園部分も年間を通じて多くの方々に利用されている。

②中でも木製遊具は経年劣化が著しく、部分的な修繕で対応しているが、根本的な改修工事を検討する時期に来ている。

答弁

菟田教育長
②近年、遊具の劣化が多い。リニューアルと更新を併せて考えていく時期に来ている。

質問

琴浦町の赤碕ふれあい広場は今年の4月に約1億6,000万円か



八東総合運動公園

けて遊具のリニューアルを決断、実施されたが財源と実施時期は。

答弁

吉田町長
有利な財源を確保するのも私共の仕事だが、これから時間をいただき研究したい。

答弁

菟田教育長
同規模のもので約1億円の見積りが出ている。そこまで費用をかけて実施するかどうかは決断していかねばならない。

隼ラボ

企業間の共同事業、触れ合う機会の創出を

町長／横のつながりは
コワーキングを活用する

質問

①隼ラボのオフィススペースは空室が続くようになってきており、現状を考慮した上で、今後の目指すべき姿をどのように考えるか。
②その目指すべき姿に向かっているために何が必要で、どのような戦略を考えるか。

答弁

吉田町長
①入居率は高い方が良いが、入居企業は隼ラボのコンセプトに沿った企業でないとならない。

今後の目指すべき姿として「地域の価値を最大化し、新たな産業や人材を生み出し、日本の未来のモデルになる田舎をつくる」に、ぶれはない。

②プラチナ大賞受賞や未来の田舎プロジェクト等のこれまでの取組をベースに将来を見据えた新たな取組が必要で、戦略としては管理会社と目的を共有し、協議しながら行政は側面的な支援を行う。

質問

何かメリットがないと入居は進まない。企業版ふるさと納税の活用や産学官民が連携できるような仕掛けをしてみてもいい。

渋谷キューズの取組の事例がある。企業間の相乗効果を狙い、企業同士が共同事業、触れ合う機会を創出してみてもいい。

答弁

吉田町長
横のつながりはコワーキングを活用していきたい。行政として側面的な支援をするが、良い提案を頂ければありがたい。

森林経営管理計画

進捗状況は

町長／昨年から整備を行った



岡嶋 正広 議員

ることは非常によいアイデアだ。

質問

①本町の森林経営管理計画の進捗状況は。

②地域の里山都市公園化し、例えば乾墓地とか船岡天満宮など周辺一帯を森林環境譲与税を活用して管理し学校教育・社会教育の場、あるいは町民の健康増進の為に散策コースとして設定してみたい。

答弁

吉田町長

①令和2年度から意向調査を開始。委託希望者の山林調査を行ない昨年23・47haの整備を行なった。
②里山の都市公園化は計画していない。都市公園の森林部分は森林環境譲与税の活用は可能と考える。

答弁

藪田教育長

②里山を公園化できれば色々な活用が考えられる。乾墓地はあまり知られていないので学習する機会になる。天満山を散策コースにする



船岡天満宮参道(天満山公園内)

トスクふなおか店

その後の対応策は

町長／地域のリーダー的な方に話をしている

質問

トスクふなおか店は7月末をもって閉店と聞いている。その後の対応は。

答弁

吉田町長

J A鳥取いなば農協から地域等との連携を含めて検討すると伺っている。

当店は建物の傷みが激しく補修は高額になる。近隣にスーパーもあり継続は困難と判断されたもの。今後の店舗の利活用についてはJ Aや商工会等と一緒に対応策を協議したい。

質問

町長からJ A鳥取いなばへの働きかけは行なっているのか。

答弁

吉田町長

職員とJ A本部で状況等確認した。J Aからの書類では店舗は地域で活用してもらえばよいとの事。地域のリーダー的な方に話をしている。

質問

土地建物の無償譲渡を申し入れては。

答弁

吉田町長

今はJ A鳥取いなばであり組織も大きくなった。非常に難しいと思う。

質問

売り場を小規模化して公設民営方式での営業は考えられないか。

答弁

吉田町長

今の状況で継続という事であれば規模縮小も考えられる。公設民営という話もあるが、今後改めて話をさせていただきたい。

質問

新たな買い物する為の手段は考えているか。

答弁

吉田町長

規模を縮小しても現施設の利用という形になればと思う。

※その他の質問

ふるさと納税について

税金の使われ方

支出されたものへの チェックは

町長／監査委員のチェックで
機能は果たしている



小原 徹也 議員

質問

①国民健康保険について、コロナ禍の中で、所得に影響する給付金や補助金等々を受けた者に、どのような影響が起きたか、分析しているか。

②指定管理制度について、指定管理料を年に数百万円、3年間、公金支出している。

各種報道ではふるりの森の元指定管理者が書類送検されたという記事が出た。チェック体制は十分機能しているか。

③出る杭を伸ばす事業について、本町の事業も国民の税金が財源であり、チェック体制を聞くと個人情報保護法が法制化され制限がある。であれば申請事項に報告義務について明確化されるべきだと考

えるが。
④納税された税金の住民の疑問について、憲法の前文に、「国の政治の在り方を決める力は、私たち国民にある」つまり国民主権だ。

憲法の条文を本町に置き換えてみれば、町の税金の使われ方を決めるのは本町の有権者にあり、その判断をするための判断材料が必要だ。個人情報とチェック機能の判断が曖昧になっていないか。

⑤今の日本の現状について、国民及び町民の方々は生活に不安が多いのではないか。

国会での与党と野党が論戦を繰り広げている様を見て、どちらが国の社会保障について真剣に議論しているのか分からない。鳥取県を見ても、イベント等々の楽しいことに重点が置かれていると受け取れる。生活が第一であるなら社会保障を重きに置くことだ。町長に優先されることは、年金受給者の生活を保障することが役目だと考

える。
ウクライナの問題は、G7サミットで騒いでもニュースにも上がらなくなり、あの騒ぎは国会議員の選挙のパフォーマンスなの

か。

少なからず八頭町は、住民の生活を第一に政治を行って頂きたい。町長の社会保障に対する認識をお聞きしたい。

答弁 吉田町長

①コロナ対策給付金が、国保税に影響するものではないと考えている。

②現状では、自治法また条例に沿った報告義務の実施及び調査を行っており、チェック機能は果た

している。

③すべての事業者に長期間の報告を課すより、個別対応可能な規定での対応を考えている。

④町民の代表である八頭町議会の承認を求めるものであり。また、八頭町の監査委員のチェックを受けている。

⑤住民の生活不安の払拭は大事だ。そのような中で社会保障があるとされている。住民の生活を大事に町づくりに取り組みたい。



議会第1委員会室

林業振興

取組をどう考えるか

町長／森林ビジョンに
基づき取り組む



前田 幸己 議員

質問

戦後植林された森林が成長し利用できる時期に達している。環境保全面からもこの森林の整備、活用が必要と考える。

- ①境界の明確化と小面積所有者の対策は。
- ②森林整備の遅れと幹線道整備の遅れ対策は。
- ③林業の鳥獣被害対策は。

答弁

吉田町長

- ①リモートセンシング調査により



林業の搬出現場

地籍調査は進み93%調査は進んだ。小面積所有者に対しては森林整備の重要性を説明し集約化を八頭中央森林組合等と進めていく。

- ②現状の森林整備は間伐が中心であり皆伐再造林は遅れている。幹線道の整備も十分でなく、事業が進む施策を検討したい。
- ③林業の鳥獣被害は主に鹿である。関係機関と連携し、本町における効率の高い鹿対策を検討する。

農業振興

農地保全をどう考えるか

町長／交付等の積極的な活用を考える
教育長／「地産地消」の重要性は教えている

質問

担い手の高齢化により、将来の担い手の育成が急がれる。

- ①今後の農地管理と担い手対策は。
- ②農業の振興と支援策は。
- ③地産地消の取組は。

答弁

吉田町長

- ①国の補助事業である中山間地直接支払交付金「多面的機能支払交付金」を有効に活用し、担い手支援、新規就農者の育成を行い、担い手を確保する取組が重要と考える。

町独自の支援は「担い手規模拡大支援事業」だ。

- ②生産基盤の整備対策として郡家地区で山上、上峰寺、下峰寺、船岡地区では大江、志子部で基盤整備事業を実施した。

農産物関係では本町の推進作物である白ネギ、アスパラガス、ブロッコリー、はとむぎをはじめ多

くの品目に対し「水田活用直接支払交付金制度」を活用し、産地交付金の支援を行っている。果樹においては苗木購入に対する町独自の補助と、施設整備費用の県補助金に町独自のかさ上げ支援を行っている。

- ③地産地消は「地域の活性化」「消費者の安全な食生活の確保」「生産者と消費者の信頼関係づくり」「伝統食や文化の浸透」等の意義があると考える。
- なお学校給食に占める本町の産物は30%だ。

答弁

藪田教育長

- ③栄養教諭により給食指導、地産地消による「循環型社会の重要性」の教育も行っている。

地域共生社会

こころのケアで養成事業は重要と考えるが

町長／健康は体だけでなくこころの健康も大事だ



中村 美鈴 議員

質問

近年、うつ病等精神疾患者が増加中であり、中高齢者の聴覚障害も深刻な問題だ。

- ① コロナ禍以前のうつ病等精神疾患者の数や心と体の健康相談に求められた数と現状は（過去5年間）。
- ② 国の取組で「心のサポーター養成事業」があるが本町の現状と、研修や職場等でヘルスチェックはあるか。
- ③ 孤独・孤立「ひとりぼっち」問題があるが、本町はどう対処しているか。
- ④ 中高齢者が難聴に支障がでるケースがあり、補聴器購入助成事業が必要だが。
- ⑤ 今後の課題は。

答弁

吉田町長

① 精神保健福祉手帳所持また自立支援医療（精神通院）受給者は、令和元年末393人で年々増加傾向だ。健康相談は平成30年度から

令和4年度は毎年40人前後で過去5年間ほぼ同じ数字だ。

② 鳥取県は「あいサポーター養成講座」で取り組んでいる。本町は、社会福祉協議会が実施の「生活支援コーデイネーター養成講座」や各集落に講師を派遣し「あいサポーター養成講座」を実施している。ヘルスチェックは職場での判断の為、把握していない。職場でのメンタルヘルス支援事業は、県東部では鳥取市保健所が実施しており相談があれば繋いでいる。

③ 平成30年度に民生児童委員や社会福祉協議会の協力を頂き、ひきこもり関連の実態調査が県下一斉に実施された。本町では40人余りと推測する。町の結果や福祉課で実施の、看護師による障害児者訪問相談事業で表面化した事案をリスト化し「ひきこもり支援調整会議」を開催し、関係機関で情報を共有している。「とつとりひきこもり生活支援センター」と連携も

図っている。

④ 本町在住で聴覚障害で身体障害者手帳を所持者に、補装具として補聴器購入費助成の場合、指定医が聴力検査を実施し、意見書または鳥取県身体障害者更生相談所の判定により実施。本町独自の助成はない。

⑤ 地域共生社会に向けて、本年度「第2次地域福祉推進計画」「第3次障害者福祉計画」「第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を改訂し、今後各策定委員会で現行計画の進捗状況や課題等の検証をしたい。

質問

うつ病等の人数は、福祉課の資料で、毎年約400人存在する。健康相談人数が毎年約40人、3地域を順番に巡回される。毎月3人程度の参加で、少ない様に思う。もっと啓発すべきと思うが。

答弁

吉田町長

基本は啓発をしながら、今の巡回を継続したい。

質問

国の取組で心のサポーター養成事業がある。身近にひきこもりの人が多く、家族から相談がある。

心のケアの養成事業は重要と考える。公明党は重点施策に掲げて推進している。行政、各自自治体が本腰を入れて取り組むべき課題だ。

答弁

吉田町長

無論そう思う。行政で出来ない面は、社会福祉協議会等にお世話になっている現状だ。健康は、体だけではなく心の健康も非常に大事だ。



行政懇談会（船岡地区公民館）

デジタル化の推進

町民がデジタルの恩恵を受けているか

町長／高齢者の見守りサービスを導入する



川西美恵子 議員

質問

町民一人一人に寄り添ったデジタルサービスの展開が必要だ。これらの進捗状況は。

- ① 公共施設のスマート予約や行政手続きのオンライン化は。
- ② デジタル田園都市国家構想交付金の具体的取り組みは。
- ③ トスクふなおか店が7月末には閉店する。買物困難住民に対する支援として、買物サポーターを設置し、町内のスーパリーの注文をネットで受けて翌日配達するなど取組をしてはどうか。

答弁

吉田町長

- ① 「とっとり電子サービス」を活用して「空き家バンクの登録申請」など33項目の手続きは可能となっている。
- ② 課題となっている物流問題に対応するため、ドローンやアプリを活用した宅配サービスを想定している。また高齢者見守りサービス



山間地への輸送が期待されるドローン配送

を導入する。さらに集落向け電子閲覧版アプリの導入を予定している。

- ③ 買い物支援員を設置し、ネットでの注文ができるよう検討していきたい。

子育て支援

利用しやすい保育所運営は

町長／施設の改善については検討したい

質問

① 特別利用保育を令和4年度から八頭町でも導入しているが、暫定的な措置で、認定こども園の整備というのが本来形である。検討状況は。

- ② 特別利用保育を利用している子どもだけが、昼寝中に起こされて退所をさせられる。せめて昼寝が終わる時間まで延長ができないか。
- ③ 親が働いてなくても誰でも保育所に入れるよう基準緩和はできないか。
- ④ 玄関にスロープがない保育所は改善すべきではないか。

答弁

吉田町長

- ① 認定こども園については、特別利用保育の導入後の現状を踏まえ、検討したい。
- ② 家庭の保育の必要性に応じて、判断したい。
- ③ 国の動向を注視したい。



スロープ設置が望まれる郡家保育所

④ 玄関付近の段差解消が必要なのは、郡家保育所のみ。実施可能な方法を検討したい。

※その他の質問
空き公共施設の対応

国保税の子ども均等割

本町独自の軽減策の上乗せを

町長／少し推移を見て

貰いたい



川西 聡 議員

質問

昨年度から未就学児を対象に均等割が5割の公費で軽減されている。

①以前の一般質問で課税廃止や軽減の範囲の拡充に関し、国への要望を求めたが県町村会の動向はどうだったか。

②現在の国の軽減策に加えて、本町独自の上乘せや軽減範囲の拡充を求める。

答弁

吉田町長

①昨年度、県の町村会は二つの制度改正は難しいとして、「廃止の前後で軽減対象年齢を18歳まで引き上げるように」、また昨年11月の全国町村長大会でも国に要望した。
②必要性は認識しているが、県は、国保の保険料水準の統一を目指す議論を進めており、現状では難しい。

質問

国が「就労していない子どもへの課税」の矛盾を認めて半額助成がある。独自施策の実現は。

答弁

吉田町長

少し推移を見て貰いたい。



元気に楽しく遊ぶ保育園児（町内保育所）

ひとり親家庭

支援体制の今後の課題は

町長／経済的、精神的不安に

寄り添った支援だ

質問

ひとり親家庭が貧困に至る原因の一つに子どもの権利である養育費の不払いがある。

①離婚に関する相談窓口は設けているか。

②養育費を受けているひとり親家庭の割合は。

③養育費確保の支援事業を始めた自治体が出てきた。施策を行いサポートするべきでは。

④支援体制の今後の課題は。

答弁

吉田町長

①児童扶養手当の支給や母子・父子・寡婦等の福祉資金貸付の相談は福祉課の対応だ。

支援策の情報提供と共に、養育費の取決めや不払い・面会交流・慰謝料や財産分与等の離婚時の悩みについては、無料で弁護士に相談出来る電話相談を案内している。

②昨年度末現在で、児童扶養手当

を受給している125世帯の中、養育費を受けている世帯は約2割だ。

③本年度の新規事業で、養育費に係る公正証書作成に要した費用と家庭裁判所への調停申立て・裁判に要する費用の一部を助成する。

自立の支援を目的に離婚した父母と子どもの面会交流も促進している。

④離婚後の住宅確保で経済的、精神的不安に寄り添った支援を行うのが課題だ。

質問

明石市には養育費保証契約促進事業がある。支援の拡充は。

答弁

吉田町長

費用以外の支援も必要だ。

情報発信

自治体アプリの早期導入は

町長／費用対効果を 確認しながら研究したい



灘口 茂郎 議員

質問 関西事務所を活用した関西圏でのイベント開催や情報発信、誘客促進の現状と今後の取組は。

答弁 吉田町長

「住吉区民まつり」神戸市長田区の「まちの文化祭」「ふるさと八頭のつどい」への参加、「花御所寄席」や「八頭町創作落語会」の開催などを予定している。

質問

首都圏でのイベント開催や情報発信、誘客促進の現状は。

答弁 吉田町長

今のところ関東圏とのつながりが少し薄いように思っている。関東の八頭町PRアドバイザーの山田さん等と、これからどのような取組ができるか話をさせてもらいたい。

質問 「新因幡ライン景観形成行動計画」の現状は。

答弁 吉田町長

道路付属物やバス停の色塗りワークショップを、大御門地区を対象に、秋ごろの実施を予定している。

地域の方々にも参加いただくことにより、官民一体で景観形成に取り組み姿勢やメッセージ性を強めるとともに、沿線の良好な景観とその保全、地域に暮らす人々の郷土愛が生まれることが期待できると考えている。

質問

「大江ノ郷」から他の観光施設や店舗への誘客の現状は。

答弁 吉田町長

令和3年度、4年度と「大江ノ郷」にも参画いただき「家族でお

いでやす周遊シールラリー」を実施した。参画する町内40店舗のうち異なる2店舗を周り、シールを集めて応募すると、抽選で町内特産品などが当たるといふものだが「大江ノ郷」を含めた町内を周遊してもらおう取組の一環と考えている。

令和5年度も秋に実施予定だ。

質問

令和3年6月定例会で「行政の思いがもう少し町民に届きやすいような体制づくりが必要だと思ふが」という私の質問に対し「行政の立場で、広報であったり防災無線であったり、さらにはホームページというところで、行政懇談会等も開催しているが、なかなか皆さん方に届いてない部分もあると思ふ」と答弁されたが、現状は。

答弁 吉田町長

令和5年3月に、やすびよんの「公式ツイッター」を開設した。やすびよんを活用し情報発信することで、行政の情報を身近に感じていただけたらと考えている。

質問

これまでスマートフォンといえ

だったと思うが、本町では3月に八頭高生が先生となりスマホ教室が開催されたり、国中地区では集落支援員の企画で「スマホ寺子屋カフェ」と題し、社会福祉協議会の協力も得て、スマートフォン教室が開催され好評であった。

このようなことから、幅広い年齢層に情報発信するには、スマートフォンを活用が有効な手段として考え、DXを推進する本町は、自治体アプリを早期導入すべきと考えているが。

答弁 吉田町長

基本的には町民向けの皆さん方のものということであるので、費用対効果ということも確認しながら研究したい。



官民一体の景観形成が期待される新因幡ライン

医療環境改善

本町の改善策は

町長／事業の実施は

医療機関の協力が不可欠だ



山根張太郎 議員

安全・安心で誰ひとり取り残さない町づくりが本町の基本だが、本町の医療環境は残念ながらそうなっていない。

高齢化率は加速し独居や高齢者のみの世帯などが急増傾向である。町内の開業医院は医師の高齢化や後継者不足で閉院や不定期や時間短縮での診療だ。また、閉院などでかかりつけ医が無くなることに不安があり、早期の対応が求められる。

- ① 現状をどう認識し、対処されているか。
- ② 医師の高齢化や後継者不足の対策や支援は。
- ③ 新規開業の誘致対策として（仮称）医療団地の造成は。
- ④ 夜間の救急往診対応は。
- ⑤ 医師確保のための条件付きの新たな奨学金制度の新設は。

答弁 吉田町長

① 昨年度郡家地域の二つの診療所が閉院された。患者を他の医院に引継ぎされたと伺っている。町内の医療機関の閉院は大変残念だ。

県や医師会にも医師確保の状況について尋ねたが、医師不足や高齢化など、総合病院でも常勤の医師が不在で、大学から派遣を受けて診療を行うなど、県内に於いても医師の確保は大きな課題である。

医療の提供は町内にとどまらず東部圏域の枠組みの中で計画検討され、各種検診や予防接種など町が行う保健事業を東部圏域の医療機関に委託して実施している。

在宅医療や保健事業の実施には地域の協力が不可欠であり、今後町内を含め東部圏域で維持できるように、対応して行く必要があると考える。

② 医師の高齢化は県内でも課題と

なっており、東部圏域は医師の平均年齢が高く、医師の充足率が低い状況だ。

医療の提供は圏域で検討されることが多く、町独自の支援策は設けていない。地域間の医師偏在の解消を通じ、地域の医療提供体制を確保するため、「鳥取県医師確保計画」が令和2年4月に策定された。

自治医科大学に医学生を修学させ僻地医療を担う医師の養成、卒業後の県内勤務を返還免除条件とした修学金を持続的に実施し県内勤務医師を確保する。

③ 以前にも提案があったが現状では、八頭町に限らず医師不足であり仮称医院団地の造成はハードルが高いと考える。

④ 各医療機関で判断し対応されている。東部圏域の総合病院では、当番制で夜間でも診療ができる体制を取っている。

東部医師会急患診療所では内科小児科の医師2名が診療を行い、夜間、休日でも診療が出来る体制だ。

夜間電話相談受付薬局等、電話相談もあるので町民へ周知を図りたい。

⑤ 自治医科大学類似の制度を持つ防衛医科大学校、学費の扱いは

違うが県の医師確保奨学金制度があり、現状を考えると八頭町独自の奨学金制度は難しいと思うが、近隣自治体とも連携し考えていく必要がある。

答弁 藪田教育長

⑤ 今年度から非課税世帯を対象とした町独自の新たな大学入学準備金制度を開始し、4件ある。

現状を考えると、奨学金制度を創設することは難しいと考える。



東部医師会の急患診療所

個人情報保護

役場機構図に担当者名は

町長／配布自体不要との
声もある



森 亜紀子 議員

質問

個人情報の保護は大切。そして町民の方々に関する条例を知っていただくことも大切だと考え、2点伺う。
① 条例改正の周知は。
② 役場の機構図に担当者名が必要と考える。ホームページには担当者名も掲載されているが。

答弁

吉田町長
① 国が改正を行ったホームページのリンクを貼り付け、公告を行っている。

② 以前から担当者名は必要ではないのではないか、また配布自体も不要ではないかとの声もある。

一般的に問い合わせるための必要な情報のみを記載し、サイズも以前の半分に収め配布した。

質問

誰もがスマホやパソコンなどでホームページを見られない。図書

館などに例規集はあるのか。

答弁

吉田町長
ペーパーレスになっていて機械の中で見る形となっている。今では印刷物はなく、図書館にも配布していない。

質問

機構図の担当者名で、町民との信頼関係や責任感に繋がるのでは。

答弁

吉田町長
名簿がなくても会話の中で信頼関係は十分出てくると思う。

質問

来年度も今のような名前のない機構図を町報に折込む予定か。

答弁

吉田町長
年度途中に異動等も発生する。そういったことも加味しての判断だと、ご理解いただきたい。

観光振興

観光地の入り込み客数は

町長／76万1000人であった

質問

① これからのイベントの飲食の方針は。
② 観光地の入り込み客数は。

答弁

吉田町長
① 夏からのイベントは町が活気を取り戻したと実感する大切な場。飲食を伴う出店もコロナ禍前の規模を想定し対応する予定だ。
今後感染拡大となれば県などのガイドラインに従って対応したい。

② 令和4年度の町内観光入り込み客数は76万1000人。対前年比121.9%。目標数値は2年前倒しで達成。

「家族にやさしいまち 八頭町へおいでやす」をスローガンに町内経済が潤う施策を講じたい。

質問

「第2期八頭町総合戦略」の目標を達成したのであれば高めに検討しては。

答弁

吉田町長
戦略の期間もわずか。基本的には目標数値の見直しは考えていない。



期待される姫路公園

※その他の質問
福祉対策について

農家の減少

小さな農業はどこへ行く

町長／底支えしている
多様な農家を支援する



柴田 秀之 議員

質問

この20年の間に、農業従事者は半減し70才以上の従事者が58%を占めている。担い手、認定農業者だけで地域の農業を守っていくことが難しくなっている。

①担い手が占める農地面積及び担い手の数は。

②下限面積廃止後の町の農業の行方は。

③中山間地の傾斜地は面積も小さく、大規模農家を目指すことは難しい。村の暮らしを守るためには、小さい農業が必要だ。多様な経営体、小さな農業への対策は。

答弁

吉田町長

①町内耕地面積の49%、担い手は64人だ。

②関係機関と連携し、経営規模の大小に関わらず、意欲のある新規参入者を取り込む。

③小さな農業を維持するための対策として県補助、町補助により経

費負担軽減を図る。農業を底支えしている多様な農家を支援し、地域農業の維持発展に努める。

質問

大規模農業は、効率化、生産性を上げるために条件の不利益な圃場は敬遠しがち、条件が不利の田んぼを耕すのが兼業農家や小さい農家であったりする。自然や環境にやさしい小さな農業、兼業農家のあり方は。

答弁

吉田町長

大きな農業経営者があって、多様な経営者がある、それが組み合って今の日本の農業を担っていると思っている。

交通安全運動

自転車用ヘルメットの助成を考えないか

教育長／自転車通学生に
入学時一律2万円助成

質問

令和5年4月1日より自転車に乗る時はヘルメットの着用が努力義務となった。大切な命を守るため着用することが大事だ。

①小学校での交通ルールやヘルメット着用の指導は。

②安全に自転車を利用するため町で、自転車用ヘルメットの助成を検討しては。

答弁

藪田教育長

①春に1年生が入学すると全校生徒に交通指導を行う。中学校も同様に交通指導している。

答弁

吉田町長

②今年の3月まで13歳未満のヘルメット着用の努力義務があり、子どもの着用が進んでいる。現在ヘルメットの助成は考えていない。

質問

中学生のヘルメット助成は。

答弁

藪田教育長

自転車通学の生徒に入学時一律2万円助成している。



努力義務になったヘルメットの着用

※その他の質問
健康な町づくりへの取組について

長い将来を見据えて ～若い人と農業を～



稲中 裕也 さん



北海道の視察の様子

現在水稻を15ha、ネギを2反半生産しています。東京に進学し27歳で八東に帰りました。農業を始めたきっかけは、就職活動をしたことがなく「農業しようかな」と。周りからは「農業をしなさそう」と言われましたが、実際にしてみると自分に合っていると思っています。

気持ちが縛られないこと、自然の中でストレスがないこと、そしてトラクターや機械を使っての作業のため、体の負担が少ないことがその理由だと感じています。

耕作面積を拡大したいことが直近の目標です。そして長い将来を見据えて、農業がもっと魅力的になるよう給料、環境、待遇などイメージを変えて、若い人と仕事がしたいと思っています。

※議会だよりへのコメントの掲載を希望される方を募集しています。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

議会の傍聴をしてみませんか

本会議はケーブルテレビで生中継 しています

なお、定例会の本会議はインターネット配信もしています



TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641(議会事務局)

八頭町議会

検索

議会、議会だよりに関する意見、ご要望をお寄せください。

編集後記

この度、議会の構成が変わり議会広報常任委員会も新しいメンバー構成となりました。

過疎化が進む八頭町において、未来を見据えた町づくりの重要性が高まっています。今号でとりあげた「デジタル田園都市創生事業」はこれから検討・検証を繰り返し行いながら、10年後20年後の「笑顔あふれるまち八頭町」に着実に繋げていく必要があります。

議会だよりを通じて八頭町がどのような未来を進もうとしているのか、その為に議会が今何に取り組んでいるのか、皆様に分かりやすくお伝えできるよう努めていきたいと思えます。今後とも何卒よろしくお願ひします。(記：緒方陽紀)

編集委員

委員長	緒方 陽紀
副委員長	森 亜紀子
委員	前田 幸己
委員	矢部 啓祐
委員	灘口 茂郎
委員	川西 聡
委員	奥田のぶよ

